

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	住宅計画小委員会	主 査 名：鈴木 雅之 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅運営委員会)	委員長名：大原 一興 主 査 名：鈴木 雅之
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・本小委員会は、「住居・住宅地（大会発表論文分類による）」を対象とした課題を検討することを目的とし、下記の重要かつ緊急性のある課題を検討する。</p> <p>① 最近 10 年間の住宅計画の調査研究のまとめと出版企画                  ② 東日本大震災の住宅復興等に関する研究                  ③ 住宅計画・開発事例の動向と研究課題の整理                  ④ 住宅系研究論文報告会の実施                  ⑤ 住宅研究における若手研究者の論文発表会の開催                  ⑥ 住宅関連学会、及び設計事務所研究会等との意見交換</p> <p>2012 年度：東日本大震災の住宅復興等に関する研究（1 年目）                  ・公開研究会、第 7 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2013 年度：・東日本大震災の住宅復興等に関する研究（2 年目）                  ・公開研究会、第 8 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2014 年度：・公開研究会                  ・第 9 回住宅系研究論文報告会の実施</p> <p>2015 年度：・公開研究会                  ・第 10 回住宅系研究論文報告会の実施                  ・4 年間の活動成果を公表（シンポジウム等）</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	鈴木 雅之 (千葉大学)、山口健太郎 (近畿大学)、新井信幸 (東北工業大学)、内海佐和子 (昭和女子大学)、川崎 直宏 ((株)市浦ハウジング&プランニング)、梅本舞子 (千葉大学大学院)、佐々木誠 (日本工業大学)、定行まり子 (日本女子大学)、佐野 こずえ (近畿大学)、関川華 (岡山大学)、高井 宏之 (名城大学)、高田 光雄 (京都大学大学院)、安武敦子 (長崎大学大学院)、安枝 英俊 (兵庫県立大学)、山本 理 ((株)長谷工総合研究所)、	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s8/top.htm">http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s8/top.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	第 9 回住宅系研究報告会※ (資料名：第 8 回住宅系研究報告論文集) <span style="float: right;">参加者 48 名</span> ※建築社会システム委員会、都市計画委員会、農村計画委員会との共同開催
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
<b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 集合住宅の実務者による公開研究会（サービス付き高齢者向け住宅の動向、集合住宅のリフォーム事業）を2回開催した。 2. 若手研究者による研究発表会を1回開催した。 3. 第9回住宅系研究報告会を開催し、住宅研究の討議、交流を促進した。
<b>委員会活動の問題点・課題</b>	当初の活動計画通りに活動が進められており、特に問題はない

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。